

2021 年度 東北大学 大学教員準備プログラム Tohoku U. PFFP (院生・ポスドク対象)

1. 目的

東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku University Preparing Future Faculty Program: Tohoku U. PFFP)は、大学教員を目指す東北大学の大学院博士課程後期の学生や、ポスドクトラルフェロー、専門研究員等を対象に、大学教員に求められる能力を実践的に学ぶ機会を提供することを目的としています。

大学教員の職務は研究、教育、管理、社会貢献など多岐に渡っており、新任の大学教員は戸惑いや大きなストレスを感じます。円滑に初期キャリアを積んでいくことができるよう、大学教員に必要な能力や知識の獲得を通じて、大学教授職への準備を図るとともに、プログラムでの経験を内省することで、自己省察力を身につけます。

2. 達成目標

本プログラムは、下図のコンセプトで設計されており、参加者は次のことが出来るようになることを目指します。



- 大学教員の仕事、役割を理解し、展望を持ってキャリアを設計できるようになること
- 大学の教育活動に関する基礎的知識および実践力を身につけること
- 異分野の研究や教育文化を知り、学びのネットワークを創造すること
- 生涯にわたり専門性を高めるために、効果的な自己省察ができるようになること

3. 担当講師

本プログラムは、東北大学 高度教養教育・学生支援機構に所属する教員が主体となって運営します。なお最新の知見等を反映させるため、必要に応じて学内外から講師を招くこともあります。以下は同機構に所属し本プログラムを担当する教員の一覧です(担当授業回順)

戸村 理	(高等教育論・大学史・教育社会学)
小島奈々恵	(臨床心理学・学生相談)
渡部留美	(異文化間教育・国際教育交流)
佐藤智子	(社会教育・生涯学習・教育行政学)
串本 剛	(高等教育論・大学教育論)

4. 内容

上記の達成目標を達成するために、以下のコンセプトに基づき様々な活動に取り組みます。プログラムはクォーター形式(全8回・2コマ連続/回)で、オンライン回と対面回とで構成されています。

具体的な活動は以下の通りです。

第1回 オリエンテーション・大学の歴史と現代高等教育（担当：戸村 理）

2021年6月15日（火） 13:00～16:10	授業形態：オンライン
概要 東北大学 新任教員プログラム（Tohoku U. PFFP）の参加者の顔合わせです。まずは自己紹介，プログラムの目的・計画の説明等を行って，お互いのことを知り，共通の目標に向かって活動する準備を行います。続いて大学という組織がどのように誕生し，いかに伝播して現在に至るのか，現代の大学・高等教育の課題にも言及しながら大学・高等教育に関する基礎的知識を学びます。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 自己紹介● PFFP の目的や計画に関する説明● 大学の誕生と伝播（中世ヨーロッパ～アメリカ～近代大学の誕生～日本）● 現代の大学・高等教育の課題（学士課程教育を中心に）	
事前事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ シラバスを読む■ 大学の歴史または現代の大学・高等教育に関するリフレクションレポート	

第2回 学生理解①・②（担当：小島奈々恵・渡部留美）

2021年6月22日（火） 13:00～16:10	授業形態：オンライン
概要 【前半】学生生活にはさまざまな悩みがつきものです。修学上の悩みはもちろん，進路，人間関係，性格，性に関すること，心身の健康など多岐にわたります。また大学教育のグローバル化に伴い，国境を超えた教育研究活動が進展し，本学にも世界各国から留学生が訪れています。こうした環境の中で大学教育を実施するには，何よりも学生理解が重要です。学習者中心の大学教育を実施するためにも，この回では現代の大学における学生理解の重要性について，実践的観点から学ぶことで，理解を深めます。 【後半】グローバル化の進展に伴い，現在多くの大学において，外国人留学生を受け入れています。この授業では，キャンパスの国際化と留学生の受け入れの現状について学び，大学教員として知っておくべき知識を身につけ，大学の国際化に貢献できるよう準備を行います。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 学生の悩み，メンタルヘルス，ダイバーシティ● 危機管理，ハラスメント● 大学の国際化，外国人留学生の受入れ● 多文化理解，多様性への対応	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ 学生理解に関するリフレクションレポート■ 大学の国際化と留学生に関するリフレクションレポート	

第3回 学習の理論とデザイン (担当: 佐藤智子)

2021年6月29日(火) 13:00~16:10	授業形態: オンライン
概要 <p>学生にとって、大学で学ぶ機会や時間は授業時間だけに限りません。しかしながら、大学での学修の中核を担うのはやはり授業と言えます。授業外の時間や学習機会と関連づけながら、その授業をどうデザインするのが、大学教育において非常に重要です。特に近年は一方向的な講義による授業だけでなく、アクティブラーニングや協同学習等の双方向的な教育デザインが重視されています。「大学教員が何をどう教えるか」ではなく、「学生が何をどのように学ぶのか」に焦点を当てることが求められています。</p> <p>授業を中核とした大学での教育をデザインしていく上では、学生を理解し、学生の学習実態を考慮しつつ、同時に、大学が掲げる教育理念や社会的要請に応じて、その内容と効果的な方法を選択していく必要があります。そのために、まずは「学習」とは何かを理解し、その上で、効果的な教育と学習のデザインについて学びます。</p>	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 学習に対する理解はどう変わってきたのか● 社会的な視点からの学習理解と学習デザイン● アクティブラーニング型授業の理論と方法● 学習支援のあり方について	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ 学習の理論とデザインに関するリフレクションレポート	

第4回 大学教員とマネジメント (担当: 外部講師・戸村 理)

2021年7月6日(火) 13:00~16:10	授業形態: オンライン
概要 <p>大学教員には教育・研究・社会貢献・学内業務等にバランス良く従事する能力が求められます。これらは勤務する大学や、年齢および職階によっても変わるものです。したがって大学教員を目指す皆さんは、これらのことを念頭において自分自身の大学教員としてのキャリアを設計する必要があります。この回では学内外から大学教員を招きインタビュー調査を実施することで、大学教員としてのキャリア設計について検討します。また第6回の授業で検討する動画教材の作成方法についても学びます。</p>	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 大学教員の仕事とは (教育・研究・社会貢献・学内業務)● 研究室, ゼミ運営● 危機管理, 学生対応, 管理職業務	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ インタビュー調査の結果を受けてのリフレクションレポート■ 反転授業教材としての動画作成 (10分程度) * 第7回授業まで	

第5回 授業デザインとシラバス作成 (担当：串本 剛)

2021年7月13日(火) 13:00~16:10	授業形態：オンライン
概要 この回からはより実践的に、まずは授業デザインとシラバス作成について学びます。現代の大学で授業を担当する際には、必ずシラバスを作成することになります。シラバス作成の過程で考慮すべき点を授業デザインの観点から検討することで、大学教員になるための準備を更にひとつ重ねます。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● なぜシラバスを作るのか● 授業目標の設定● 成績評価方法の決定● 教育/学修活動の計画	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ 授業デザインの修正	

第6回 模擬授業① (担当：戸村 理)

2021年7月20日(火) 13:00~16:10	授業形態：オンライン
概要 動画教材を受講生同士で視聴し、反転授業教材としてどのように優れているか、さらにはどうすればもっと学生の理解が深まるかといった点についてピアレビューを行います。その上で反転授業教材の延長にある対面授業のデザインを行い、次回の模擬授業②(マイクロティーチング)の設計を行います。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 受講生が作成した反転授業教材(動画)の視聴とそのピアレビュー	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ 反転授業教材とリンクした模擬授業(マイクロティーチング)の準備	

第7回 模擬授業② (担当：戸村 理)

2021年7月27日(火) 13:00~16:10	授業形態：対面
概要 対面での模擬授業(マイクロティーチング)を実施します。反転授業を想定しているため、動画教材との関係性も重要となります。ここでも受講生同士でのピアレビューを行って、より良い授業を開発することを目指します。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 受講生による模擬授業とそのピアレビュー	
事後学習 <ul style="list-style-type: none">■ ピアレビューを受けてのリフレクションシートの作成■ シラバス、授業デザイン、反転授業教材(動画)を修正して提出	

第8回 大学教員としてのキャリアの検討と修了式 (担当：戸村 理)

2021年8月3日(火) 13:00~16:10	授業形態：対面
概要 本プログラムで学んだことをふりかえり、自身の今後の大学教員としてのキャリアについて検討します。最後に修了式を行い、修了書を授与します。	
内容 <ul style="list-style-type: none">● 大学教員としてのキャリア形成● 修了証の授与	

5. 成績評価

全8回のプログラムへの参加が必須となります。そのうえで担当講師が指示する事前事後課題を定められた期日までに提出することが求められます。成績に関する詳細は第1回時に説明をします。

6. 受講について

受講者への連絡および教員とのやり取りはGoogle Classroom上で行います。なお受講者との各種事務連絡および調整は、東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター（CPDオフィス）が窓口となります。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター CPDオフィス

メール : tu-pffp@gp.tohoku.ac.jp

電話 : 022-795-4471

7. 参考文献

佐藤浩章編, 2010, 『大学教員のための授業方法とデザイン』 玉川大学出版部

夏目達也他, 2010, 『大学教員準備講座』 玉川大学出版部

羽田貴史編, 2015, 『もっと知りたい大学教員の仕事—大学を理解するための12章—』 ナカニシヤ出版

*その他, 関連する参考文献は各回の授業中に紹介します。

8. その他

受講者の状況に応じて授業内容を変更することがあります。問い合わせ等は、東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター (tu-pffp@gp.tohoku.ac.jp) までご連絡ください。